

令和5年度第2回習志野市青少年センター運営協議会会議録

1 開催日時 令和6年2月13日(火)15時00分～16時00分

2 開催場所 習志野市役所2階2-1・2-2会議室

3 出席者

【会長】 習談会 会長 五十嵐 久仁

【委員】 こども部子育て支援課 課長 奥井 菜摘子

学校教育部指導課 課長 近藤 篤史

習志野市立東習志野小学校 校長 加藤 努

習志野警察署生活安全課 課長 鈴木 愛彦

青少年補導委員連絡協議会 会長 松濱 幸子

民生委員・児童委員連絡協議会 副会長 岡 久郎

習志野八千代地区保護司会習志野副支部長 高橋 君枝

【事務局】 生涯学習部 部長 片岡 利江

生涯学習部 次長 芹澤 佐知子

生涯学習部青少年センター 所長 田中 紀代美

生涯学習部青少年センター 主査 中山 岳

生涯学習部青少年センター 青少年補導相談員 池上 吐夢

【傍聴者】 なし

4 会議次第

令和5年度第2回習志野市青少年センター運営協議会

第1 開会

第2 会長 挨拶

第3 会議録の作成等及び会議録署名委員の指名

第4 報告

・令和5年度習志野市青少年センター事業実施状況について

第5 協議

・令和6年度習志野市青少年センター事業実施計画(案)について

・令和6年度 協議会の予定について

第6 その他

第7 生涯学習部長 挨拶

第8 閉会

5 会議資料 令和5年度第2回習志野市青少年センター運営協議会に関する資料

6 議事内容

○第1 開会

○第2 会長挨拶

○第3 会議録の作成等及び会議録署名委員の指名

協議事項(1)の「令和6年度事業計画(案)」については、教育委員会会議規則第13条第1項第4号の「教育に関する予算その他会議の議決を経るべき事項」に該当するため、非公開とすることが決定した。

会議録の作成は発言委員名を入れた要点筆記とし、ホームページで公表することを決定した。

会議録署名委員は会長より、加藤努委員と松濱幸子委員を指名し、決定した。

○第4 報告

令和5年度習志野市青少年センター活動概要について

【青少年センター 田中所長】事業概要について説明する。

令和5年度の概要説明の前に報告がある。青少年センターは、生涯学習部社会教育課所管となっているが、令和6年度より、機構改革により新設される学校教育部保健体育安全課所管になる。担当する事業については、大きな変更はない。

令和5年度事業実施状況の概要について説明する。活動報告の詳細については、次年度の第1回の青少年センター運営協議会にて説明する。

「補導活動」について説明する。常時活動として、補導委員とともに薄暮と夜間パトロールの実施をしている。補導委員とともに地域を歩いて回り、より地域に密着した情報が得られた。非行少年は見かけないが、補導活動は地域で見守る町として犯罪抑止力になる。また、補導活動の中で落書きを確認し、関係課に情報提供し、改善された箇所もあった。

各中学校区の補導委員による「学区一斉補導」や「特別補導」では、学校の終業式や地域の祭りの日などに多くの補導委員が参加した。どの地区も大きな問題はなかったが、各学区から提出された報告書から、地域の実情の把握と各学区のパトロールのコースも参考になった。2月22日木曜日にも学区一斉補導が予定されている。

「広域列車パトロール」では、実際に各路線の電車に乗車し、主に下校中の高校生の補導活動を実施した。通学バックの置き場所や扱いに多少気になる高校生がいたが、おおむねマナーよく乗車しており、特に問題はなかった。日頃、接点の少ない高等学校の先生方の参加は補導委員との情報交換、情報共有に大変有意義であった。

隣接地域関係者連絡会では、千葉市、船橋市ともに習志野市が担当であった。千葉市とは、七中学区を中心に、三中学区、六中学区の補導委員、船橋市とは、一中学区を中心に、二中学区、五中学校の補導委員と合同パトロールと情報交換をした。両

市の補導委員のもっている地域の情報の交換ができた。

青少年センター職員による自主パトロールでは、日常の市内の様子の確認のほか、補導委員からの情報や、不審者情報があった箇所、遊戯施設、落書き箇所の確認など、外部からの情報提供があった箇所も重点的に巡回した。

青少年センターの補導相談では、「青少年の補導に関する相談」を受け付けている。1月末日現在、児童生徒の家出に関する学校からの相談件数が一番多く、学校教育部指導課と連携し、対応した。

青少年健全育成活動について説明する。市民まつりでは、補導委員連絡協議会の「子ども広場」での活動に協力した。たくさんの保護者が来場し、青少年健全育成の広報活動になった。

少年の日啓発ポスター展では、市立小学校4. 5. 6年生から283点の応募作品があった。

中学校区青少年連絡協議会、いわゆる青連協の代表者会に出席し、各学区との情報交換を行った。

少年の日啓発ポスター展と同時開催で、青少年健全育成標語コンクールの展示も行った。今年度は、「少年の日」啓発ポスター及び青少年健全育成標語コンクールの表彰式を初めて開催した。市長賞、市議会議長賞、教育長賞、会長賞を新設し、賞状が授与された。児童生徒の晴れやかな表情から、今後の学校生活の励みや自信につながったことがうかがえた。

補導委員と青連協との合同研修会では、バスにて八街少年院の見学をした。少年の更生プログラムなどの説明や施設の見学をした。青少年健全育成のために活動している両団体の交流となるいい機会にもなった。

キラット・ジュニア防犯隊の結団式にて、防犯学習会を行った。児童生徒は、資料を参考に熱心に学習していた。直接児童生徒に話ができる機会をこれからも大切にしたいと考える。

少年野球大会の協力では、地域の教育力、スポーツを通して、集団活動及び異年齢交流ができ、健全育成の環境づくりの推進ができた。

不審者情報では、学校などの関係各所から、情報が入ったら、市内関係施設に速やかに情報を配信し、注意喚起を図っている。今年度は、多くの関係機関の御協力により、より迅速な発信ができるメール配信に順次、切り替えている。また、防犯安全課や習志野警察署生活安全課とも情報共有を図り、児童生徒の見守りや事件事故の未然防止に努めている。

「子ども110番の家」について説明する。今年度は、チラシの作成、ホームページの掲載、ちば電子申請サービスの活用、また、SNS を活用するなど、「子ども110番の家」の周知や協力申出がしやすい環境づくりに努めてきた。特に、拡充活動では、事業所や商店を中心に一軒一軒、協力依頼に行った。また、個人宅でのご協力を進めるために、補導委員や青連協、連合町会協議会総会、防犯協会、防犯指導員、市 PTA 連

絡協議会、1000か所ミニ集会、地域学校協働本部連絡会議、キラット・ジュニア防犯隊結団式、各小学校入学説明会にて協力をお願いを行った。何軒かの協力申出があったが、対象人数が多いにかかわらず、協力者数の増加には結び付かなかった。個人宅の協力者数増加については、今後の懸案事項である。

「子ども110番の家」の加入軒数の推移について説明する。今年度は、事業所や商店を中心に多くの方に御協力をいただいた。令和6年1月末日現在、14軒の退会があったが、130軒の新規協力者が加わり、合計1074軒となった。

加入者研修会では、61名の申込があった。習志野警察署生活安全課長鈴木様を講師に「子ども110番の重要性について」講話をいただいた。参加者からは、大変参考になった、防犯意識が身についたなどのほか、「子ども110番の家」の御協力について、温かい言葉をいただいた。地域の方の支えをこれからも大切したいと考えます。

「子ども110番」は、コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなど、各業界でも実施されている。配達トラックにもステッカーが貼ってあるのを目にする。各業界での取り組みを、学校にも周知し、地域全体で見守っていること、困ったことがあったら躊躇なく駆け込むことなどの安全教育の推進が図れるようにしていく。

各学校では、保護者が終業式に「子ども110番の家」について児童に話をする時間を設けた学校もあった。他にも、「子ども110番の家」マップを作成するなど、児童の安全教育を実施していた。

近年の、情報端末所持の低年齢化に伴い、情報モラル教育の重要性が増している。当センターでは、インターネット適正利用啓発学習会を実施している。今年度は、1月末日現在7校実施し、今後2校で実施予定となっている。今年度の特徴として、保護者に授業公開をする学校が実施予定も含めて、2校あったことである。児童と保護者とが、同じ話を聞くことは、親子で適正利用の確認ができ、その効果が期待できる。次年度は、さらに公開授業について各学校に周知し、実施校を増やしたいと考えている。

今年度も、「情報端末及びインターネットによるトラブル調査及び情報モラル教育実施状況調査」を実施した。調査結果は、2月14日の校長会議にて周知し、生徒指導や教職員研修の一助にさせていただきたいと考えている。この調査結果からは情報モラル教育のさらなる充実をし、児童生徒の判断力を育てること、加速度的な社会の変化に対応できる、教職員の指導力向上のための研修の充実、保護者への啓発活動の充実が今後の課題であることがわかった。

次に、「会議・研修」について説明する。今年度も会議、研修の開催、児童生徒の安全確保のため、関係各課と連携をしてきた。外部の会議にも出席し、情報交換を行い、青少年健全育成に努めてきた。

次年度への課題が3点ある。

1点目は、青少年補導委員の協力についてである。現在、各推薦団体様から委員の推薦をしていただいている。委員の人数の維持が今後の課題ととらえている。センターとしては、補導委員による補導活動の周知を行っていく。

2点目は、店舗や事業所を中心に、「子ども110番の家」の協力者の拡充を重点的に実施してきた。ほとんどの店舗や事業所において、気持ちよくご協力していただいたが、個人宅の協力者が少ない状況がある。次年度は、個人宅にも御協力いただけるように周知活動を充実していく。

3点目は、情報モラル教育の充実である。情報モラル教育の充実は、喫緊の課題ととらえている。次年度は、児童生徒の発達段階に応じた学習会プログラムを作成し、さらなる情報モラル教育の充実を図っていく。

以上で、令和5年度概要説明を終了する。

▶質疑等

【加藤 委員】 以前、青少年センターに在籍中にも、「子ども110番の家」ステッカーの老朽化問題があったが、近年はどうか？

【青少年センター田中所長】令和4年度は老朽化プレート交換を主にしていたが、今年度は拡充活動に重点を置いた。協力者からのアンケートで要請を頂いた分を含め、1 月末時点で43軒の交換を終了している。また、自主パトロール時に目に付いたものは、電話等で連絡し随時、交換を進めている。

【加藤 委員】 子供達の安全安心には、ステッカーの状況が良いのが、好ましい。

【高橋副会長】 最近は、昔ほど街中に有害ビラ等を見かけなくなった。また、説明のあった、電車の中でのマナーも素晴らしく良くなったと思う。少年野球に関して「ならしの朝日」の紙面で大会の記事を見たが、チーム数はどのくらいか？

【青少年センター田中所長】確認の上、回答する。

【高橋副会長】「通学路安全対策協議会」が行われているが、習志野市内に危険な通学路はないのか？

【青少年センター田中所長】それぞれの学区で特徴が違うが、市内で暗い道や交通量の多い所が問題に上がっている。協議会には庁内では道路課、公園課や警察の方など多方面からの参加があり、看板表示の薄くなっているところの改善などがされたところもある。不審者と交通面が課題となっている。

【高橋副会長】 ガードレールがなく、U 字溝の蓋の上を車が通行するのを見かけるが、その辺の安全が改善されるとよい。八街の大事故のようにならないことを願う。

【五十嵐会長】 「子ども110番の家」の加入数だが、1074 軒はセンターの直接の受付分か？

【青少年センター田中所長】周知活動もしているが、メールや電話などでの申し出で、センターを通じての加入である。

【五十嵐会長】 プロジェクター説明の中で、パルシステム「子ども110番」のステッカーの下に県教育委員会の名が連ねてあるが、県から取組みへの登録など、情報は無いのか？

【青少年センター田中所長】直接はない。他に不動産業界などでもあるようだが、県の会議

への出席時に情報交換したい。

【五十嵐会長】 ぜひ情報共有してほしい。習志野警察署でそのような取り組みはないのか？

【青少年センター田中所長】習志野警察署のご協力をいただいているので、習志野市の「子ども110番の家」プレートには習志野警察署の名前が入っている。

【五十嵐会長】 青少年センター以外で商工会議所など、市内の団体などとの取り組みはあるのか？

【鈴木 委員】 青少年センター以外にはない。

○第5 協議

(1)令和6年度事業実施計画(案)について

(非公開)

(2)令和6年度習志野市青少年センター運営協議会開催予定について

【青少年センター田中所長】 開催日は、委嘱状交付式・第1回運営協議会は、令和6年5月22日(水)市庁舎2階2-1、2-2会議室。第2回は令和7年2月4日(火)市庁舎5-2会議室を予定。

○第6 その他

○第7 生涯学習部長挨拶

○第8 閉会

上記のとおり令和5年度第2回習志野市青少年センター運営協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、出席者2人が署名する。

令和6年 2月28日

署名委員 加藤 努

署名委員 松瀬 幸子